

知って安心! あなたの町の水質について

上下水道局では、お客さまに安心して水道水を飲んでいただくために、1年間の水質検査計画を立て、水源から浄水場、ご家庭の蛇口まで定期的に水質検査を行っています。

水質検査では、水道水が満たすべき基準として水道法で定められた全ての水質基準項目に、水道水が適合しているかを確認しています。

●水質基準項目とは？

水質基準項目では、人の健康に悪影響を与えないよう設定された「健康に関する項目」(31項目)と水道水を利用する際に支障が起きないように設定された「水道水が有すべき性状に関する項目」(20項目)が定められています。

クリアすべき水質基準値は、生涯にわたって毎日水道水を摂取しても健康に影響を生じない量を基に、安全性を考慮して定められています。



●水質検査の結果や水質検査計画は、 下関市上下水道局ホームページで公表しています。



下関市上下水道局 水源・水質情報 **検索**

●水の硬度について

「硬度」とは、水の中のミネラル分であるカルシウムとマグネシウムの合計含有量を表したものです。ミネラルが多い硬度の高い水を「硬水」、ミネラルが少ない硬度の低い水は「軟水」と呼んでいます。

WHO飲料水水質ガイドラインでは、硬度120mg/ℓ未満の水を「軟水」、硬度120mg/ℓ以上の水を「硬水」と分類しています。

硬度が高いと石鹸の泡立ちが悪くなるため、水道水の硬度は300mg/ℓ以下にすることが水質基準で定められています。

硬度は水源によって異なりますが、下関市の水道水の硬度は26mg/ℓから72mg/ℓ程度のため「軟水」にあたります。

硬度は水の味にも影響し、硬度が低い水はあっさりとして癖がない味に、硬度が高い水はコクがあり癖のある味に感じるようです。

また、硬度は料理の味にも影響が出ると言われており、和風料理には軟水が、洋風料理には硬水が適していると言われ、日本ではおいしさの面から硬度の目標値として10mg/ℓから100mg/ℓが設定されています。

